

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、「3 サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	3・11の災害を教訓とし、災害時の利用者の安全避難について近隣住民の協力体制はほぼ確立しているが、地元消防団との話し合いの場が持てない事	火災や地震等の災害時に利用者の生命を守る為の安全避難ができるように、あらゆる協力体制を築く	消防団員との話し合いの場の設定。平日には、それぞれの消防団員が仕事を持っている為に時間を取る事ができない事から、土・日の休日に会議日を設定し、できるだけ多くの消防団員、又近隣住民の参加をお願いし、実施する	6ヶ月
2	2	地域とのかかわりの中で、地域の方々が施設を訪問していただくことが比較的によく、利用者が出かけて参加する機会が少ない	地域の住民として、地域の行事には、参加することによって、より以上に施設の事を理解していただき、地域住民としての生きがいを持っていただく	地区公民館主催の文化祭への参加により、利用者の作品展示や、お茶会などへ参加し喜ばれた。今後も続けていきたい。又地区敬老会などへの参加も今後検討していきたい	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。